

県知事選挙 野党のあり方も問われています

国会でも地方選挙でも **市民と野党の共闘がますます前進**

ところが
長野県政では



**自民・公明と野党が
相乗りしています**



(写真)新潟県知事選で、はじめて勢ぞろいした野党6党の代表。(左から)岡田、大塚、枝野、又市、小沢、(右2人目)志位の各氏=2日、新潟市のJR新潟駅前

今、国政でも地方でも、市民と野党の共闘が大きく前進しています。新潟県知事選挙では野党6党派の代表がはじめて勢揃いし、あと一步と迫りました。同日投票の東京・中野区長選挙では、自公がおよす現職をやぶり野党共闘の新人が当選。自公政権に代わる新しい政治の展望を示しています。

国会内の野党共闘も、6野党国対委員長会議や書記局長・幹事長会議を頻繁に開催し、「原発ゼロ基本法案」の共同提出など安倍暴走政治に対決しています。

金井忠一さんは、野党共闘の前進をめざします。県知事選挙は、安倍政権に代わる新しい政治を切り開く大切な意義を持っています。

長野県でも

1人区となった2016年参議院選挙では、杉尾秀哉さんが市民と野党の共闘でみごと当選。2017年総選挙では突然、希望の党がつくれ野党共闘がこわされました。しかし逆流を克服し、1区～5区まで市民と野党の共闘を実現、1区では圧勝し、県内の自民党議員を5から3に減らすことができました。

アベ暴走政治ストップ
市民と野党の
共闘をすすめるために

金井忠一さんを
応援します

若い頃からみんなを引っ張っていく行動力の忠ちゃん。幼い頃お父さんをなくし、子どもの頃からおかあさんを助けてがんばった。貧しさの何たるかを知っていたからこそ、弱い立場の人にはいつも優しい。弱い者いじめとウソだらけの安倍政治、追従する阿部県政と政策で堂々と対決しがんばってほしい。

金井忠一さんを応援します。金井さんは上田市職員時代からゴミ・環境問題に、パワフルに取り組んでこられたとお聞きしています。今度は長野県の環境問題に取り組んでください。

戦争はイヤだ、
平和を守ろう会
三ッ橋紀代子さん
(諏訪市)

県政が大政翼賛化しないよう、金井忠一さんに期待します。政策では、里山整備をお願いしたい。

(株)まつり
工房代表
北原 永さん
(伊那市)

原子力緊急事態宣言が継続されるなかで、大きな被害が想定される原発の再稼働は許される事ではありません。知事には再稼働に反対の立場を明確に示して頂く事を願います。

原発に頼らない未来をめざすプロジェクト
田澤洋子さん(長野市)

私たちの暮らしを支える憲法。憲法は大事な争点です。活発な議論を望んでいます。



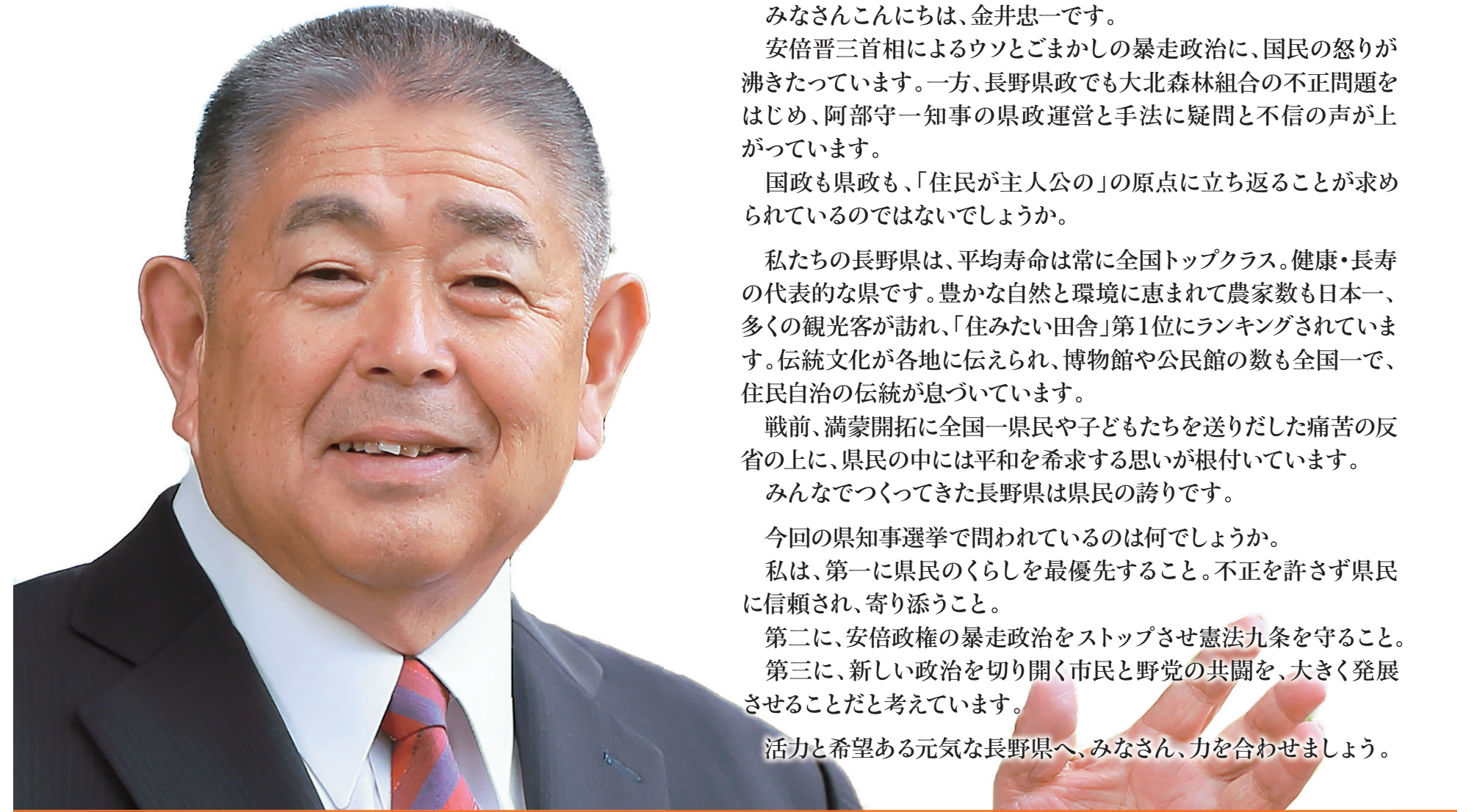
弁護士
岡田和枝さん
(長野市)

信州長野勝手連・絵本作家
三枝三七子さん(松本市)



8月5日
長野県知事
選挙

**あなたの選択で
変えよう政治**



みなさんこんにちは、金井忠一です。

安倍晋三首相によるウソとごまかしの暴走政治に、国民の怒りが沸き上がっています。一方、長野県政でも大北森林組合の不正問題をはじめ、阿部守一知事の県政運営と手法に疑問と不信の声が上がっています。

国政も県政も、「住民が主人公」の原点に立ち返ることが求められているのではないのでしょうか。

私たちの長野県は、平均寿命は常に全国トップクラス。健康・長寿の代表的な県です。豊かな自然と環境に恵まれて農家数も日本一、多くの観光客が訪れ、「住みたい田舎」第1位にランキングされています。伝統文化が各地に伝えられ、博物館や公民館の数も全国一で、住民自治の伝統が息づいています。

戦前、満蒙開拓に全国一県民や子どもたちを送りだした痛苦の反省の上に、県民の中には平和を希求する思いが根付いています。

みなでつくってきた長野県は県民の誇りです。

今回の県知事選挙で問われているのは何でしょうか。

私は、第一に県民のくらしを最優先すること。不正を許さず県民に信頼され、寄り添うこと。

第二に、安倍政権の暴走政治をストップさせ憲法九条を守ること。

第三に、新しい政治を切り開く市民と野党の共闘を、大きく発展させることだと考えています。

活力と希望ある元気な長野県へ、みなさん、力を合わせましょう。

私はやります

金井忠一

かない

ちゅういち

プロフィール

1950年上田市生まれ。6歳のとき父親を亡くし、苦学して上田東高校を卒業、上田市役所に25年間勤務。
市役所を退職後、上田市議員(5期)、上田市農業委員(3期)を歴任。市議時代から3000件の生活相談にのり、PTA会長、自治会長などを歴任。
介護問題の勉強やリサイクルシステムを学ぶためにデンマークやドイツ、スウェーデンを自費で視察。

2016年から長野県生活と健康を守る会連合会会長、長野県の格差と貧困を解消する運動などにとりくむ。
上田市長選に2回挑戦。1万食給食センターの見直しを争点にし、実現。
家族は妻と2男1女(それぞれ独立)。上田市在住。農業。



地域のみなさんから「忠ちゃん」の愛称で親しまれています。

明るい県政

明るい県政をつくる県民の会が見解を発表しました。

明るい県政をつくる県民の会(略称「県民の会」)

2018年6・7月号外
連絡先 〒380-0813 長野市鶴賀緑町1607 TEL026-219-3433 FAX026-219-2252

金井忠一

検索



県内各地の草の根の力を合わせて 県民によりそう あたたか県政に転換しましょう

自民党主導、国いいなりの



(宮下一郎衆院議員のホームページより)

阿部守一県政

阿部県知事、安倍自民党総裁から推薦証

1期目の選挙で自民党候補と対決しながら、2期目は自民党にすり寄り今回も安倍総裁から推薦証を受け取った阿部知事。大北森林組合の補助金不正事件の対応や、大型公共事業の県民への説明の不足など、「共産党を除くオール与党態勢となった。県会や支持団体との関係を重視するあまり、県民の姿が見えにくくなっていないか」(信濃毎日 社説5月10日)と指摘されています。

くらし



消費税増税容認、大型事業優先で借金是最悪に

阿部知事は、国の方針にそって病院の入院ベッドの大幅削減と国民健康保険の負担軽減策の廃止をすすめている一方、「消費税は県にとっても重要な財源」と言っているばかりません。低所得者や中小企業を苦しめていることに目が向いていません。

経済や暮らし向きの現状

活気がある…41.9%
活気がない…50.4%

(2018年4月：県世論調査協会より)

憲法

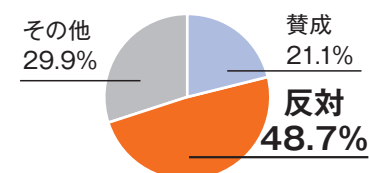


安倍政権の9条改憲にもの言わない阿部知事

阿部知事は「基本的人権の尊重、国民主権、平和主義の原理は尊重されるべき」と発言しても、安倍政権がねらう9条改憲は海外で戦争する国になると指摘されても「国会での議論を」とのあいまいな姿勢です。

自衛隊の存在を明記する憲法9条改正

(2018年4月：県世論調査協会より)



原発 リニア

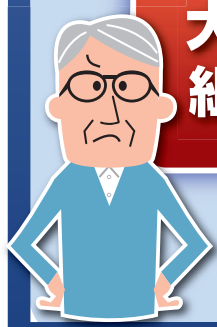


原発容認、リニア推進

県民の声に長野県議会は「核兵器禁止条約への参加を求める」意見書を採択。身近な柏崎刈羽原発の再稼働にノーと言えないのが阿部知事。JR東海の総工費9兆円のリニア計画を諸手を挙げて推進しているのも阿部知事です。大談合事件や土砂崩落に不安が広がっています。



大北森林 組合問題

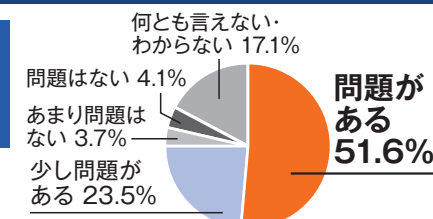


不正事件は現地職員に責任おしつけ

補助金14億円余が7年間にわたり不正にあつかわれてきた県政史上最大の不幸事。県幹部の関与が明らかにされないまま、現地職員に責任を押しつけてようとしているのが阿部知事です。

大北森林組合事件、現地職員だけへの賠償請求に「問題」

(2018年4月：県世論調査協会より)



金井忠一

さんの

8つの イキイキプラン



1 教育予算を増やし、教育オール無償化へ——全力で子育て支援！

トイレや校舎の改修、エアコン設置など教育環境を改善します。給食費の計画的無料化、学年費の負担軽減など、教育無償化をめざします。保育料軽減、待機児童ゼロへ市町村の取り組みをサポートします。



2 ますます健康、さらに長寿の県づくり！

福祉医療の窓口無料化で安心して医療を受けられ、生活の場の充実をはかります。国保料の県からの財政支援をおこないます。



3 希望を持って、働き続けることができる長野県！

中小企業の税金・負担の軽減策をすすめながら、時給1500円をめざします。ブラック企業の根絶と雇用の拡大をすすめます。



4 公共事業は、身近なインフラ整備を進めます！

生活道路など身近なインフラ整備を優先させ、リニアなど大型公共事業は県民参加で検証します。



5 家族農業を全面支援 災害に強い長野県！

価格保障・所得補償の充実。火山県にふさわしい体制の強化と活断層への防災対策、耐震改修支援をすすめます。



6 自然再生エネルギー100%の長野県！

柏崎刈羽、浜岡原発など原発再稼働に反対し、太陽光、小水力、バイオマス、地熱などの条件を生かした普及をすすめます。



7 9条まもり、いつまでも平和な国を！

憲法9条を守る3000万人署名を推進し、核兵器禁止条約の日本政府の締結を求めます。



8 自治体の自律性と住民自治を基礎とした信頼できる県政運営！

大北森林組合不正事件の徹底究明を行い、庁内の風通しを良くし、徹底した情報公開をすすめます。

県民の世論と運動が県政を動かしています



子どもの医療費窓口無料化

20年来、女性団体など県民運動で取り組まれた子どもの医療費無料化運動は、中学卒業までの無料化が実現。全国では、すでにほとんどの都府県が窓口無料です。知事が決断すればもっと早く実現できました。

30人規模学級の実現

ゆきとどいた教育をめざし、教職員団体や父母など、多くの教育関係者が毎年署名運動をとりくみ、とうとう3年前に30人規模学級が小中学校全学年で実現しました。高校の30人規模学級の実現も急務です。

給付型奨学金制度

県民運動で全国にさきがけて実現したのが、給付型奨学金制度。返済不要の入学金30万円がまず実現、2016年より年間、理系25万円、文系15万円の返済不要の奨学金制度になりました。